

平成26年度日本NGO連携無償資金協力署名式典



12月11日（木）、平成26年度日本NGO連携無償資金協力署名式典が当館多目的ホールにて執り行われ、隈丸優次特命全権大使と特定非営利活動法人日本地雷処理を支援する会の渚上カンボジア現地統括代表が、「CMACに対する不発弾処理に係わる能力構築支援事業」（供与限度額：509,723米ドル）案件の贈与契約書に署名を行いました。

本案件では、各州における不発弾回収・処理・技術移転活動を終了し、コンポンチュナン州のCMACトレーニングセンターにおいて、教官とCMAC全体のERW（爆発性戦争残留物）チームの処理能力向上のための教育を行う費用が支援されます。本事業実施により、カンボジア全体の不発弾処理が加速化され、不発弾処理を2019年までに完了させるというカンボジア政府の目標に寄与することが期待されています。また、今回行われる技術移転により、近年増加している重トラクターによる開墾時の接触事故が未然に防止されることが期待されています。



式典では隈丸大使がスピーチを行い、「過酷な環境の中で、カンボジアの地雷・不発弾処理事業に従事している方々に対し敬意を示すとともに、今回の支援がカンボジアの草の根レベルの人々に直接的に裨益し、日本とカンボジアの更なる友好促進につながることを願う」旨述べました。続いて、渚上現地統括代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明し、「JMASCがこれまで実施した不発弾処理活動経験を活かし、CMACの能力向上に努める」ことが約束されました。スピーチの後、隈丸大使と関係者全員による記念撮影が行われ、式典は和やかな雰囲気の中終わりました。

